

稲作情報



★絶対『品質向上』

日本一のブランド米「魚沼産」シヒカリは高品質・良食味があたりまえです。安定した品質を継続するためにも基本技術を徹底し、高品質米を目指しましょう。高品質米生産には稲の生育に合わせた管理が重要で、これには生育状況をきちんと

と把握する必要があります。生育調査とそれをふまえた細やかな栽培管理で品質を高く安定させましょう。

●暖かい日に田植を

田植をした後は、植え傷みせず、すみやかに新根が発生して根付き、生長を開始するのが望ましい状態です。天気予報などを参考に暖かい日を選んで行いましょう。

植込みは60株を基本とし、極端な疎植はやめましょう。一株当たり本数を3〜4本としましょう。植込みが多いと茎が細くなり、倒伏や除青未熟粒・青未熟粒などが発生しやすくなり品質低下につながります。

●初期生育には

水管理が重要

初期生育の促進には、田植後の水管理が大きく影響します。低温や強風から稲を守り、早く活着させて順調に生育させるために、次のポイントに注意しましょう。

①移植直後は、やや深水で

使用しましょう。

代かきから田植までの期間はなるべく短くし、田植後に一発処理剤を散布しましょう。

また、農薬の登録内容の変更により、農薬散布後、止水7日間を必ず守ってください。

除草剤は、田面が露出していると薬剤が溶けこく、効果が不足します。

また、部分的に田面が低く深水になると、下葉が枯れたり生育抑制などの被害が生じる場合がありますので、田面を均平にするよう心がけましょう。

近年、フロアブル剤やシャボン剤の使用が多くなってきました。拡散性に優れているため少々のみまきムラがあっても効果は期待できます。ただし効果を安定させるためには、粒剤を散布する時よりも多めに水を張り（5〜6センチ程度）散布を行います。



②活着後は2〜3センチの浅水とし、時々水を更新します。ただし、強風時や寒い日にはやや深水にして保温してください。

●効果の上がる

除草剤処理を

除草剤は、種類によって使用時期や使用方法が異なります。容器や包装に記載されている事項を確認し、雑草の生育状況にあわせて

主要元肥銘柄の窒素量

品名	規格	窒素成分%	内化学窒素%	1袋あたりの窒素量kg	内化学窒素量kg
魚沼ロマン有機専用	20kg	10	5.0	2.0	1.0
有機一発基肥	20kg	12	5.9	2.4	1.18
有機50 ニューフレーザー10	20kg	10	4.9	2.0	0.98
有機30 魚沼ロマン102号	20kg	10	6.9	2.0	1.38
有機30 魚沼ロマン 側条専用粒状	20kg	12	8.3	2.4	1.66

※この表を参考に10aあたりの化学窒素量をつかみましょう。

稲作 情報



水稻除草剤の効果をもとめるためには

- ①水管理（水持ち）が一番大切です。フロアブル剤やジャンボ剤は影響を受けやすいので注意しましょう。
- ②除草剤や雑草の種類により、殺草限界に違いがあるので、散布時期に注意しましょう。
- ③ていねいな代かきにより田面の均平を図り、畔ぬり等により漏水を防ぎましょう。
- ④代かきはできるだけ田植時期に近づけましょう。

◎除草剤散布前の適正な管理で効果を最大限に発揮させましょう。

主な除草剤の使用基準

(1) 初期除草剤

田植前の使用は、**植代後～移植前7日まで**に登録内容が変更されました。

除草剤名	成分数	10a当り使用量	使用時期	備考
メテオ1キログラム剤	1	1kg	植代後～移植前7日まで 移植直後～ノビエ1.0葉	移植後30日まで
ソルネット1キログラム剤	1			
草笛フロアブル	2	300ml		

(2) 一発除草剤

除草剤名	成分数	10a当り使用量	使用時期	備考
メガゼータ剤	2	1kg	移植時・移植直後～ノビエ3.0葉	但し移植後30日まで
ベンケイ1キログラム剤	3			
ウィナー1キログラム剤51	3	移植時・移植直後～ノビエ2.5葉		
ヤイバ豆つぶ250	2	250g	移植後3日～ノビエ2.5葉	

※剤型につきましては、肥料農薬予約申込書を参照願います。

★農薬の使用は登録内容を必ず確認し正しく使用しましょう。

安全・安心『おぢや米』栽培管理日誌の記帳徹底を！

- 生産された『おぢや米』の安全・安心を確認・証明するために必要な資料になりますので、栽培管理日誌への記帳徹底をお願いします。
- 提出いただけない場合は米、粉の受入は原則できませんので、ご注意をお願いします。

6月の一泊貯金時に栽培管理日誌①を回収に伺います。